

第1章 沿革

日立水道株式会社の設立

日立鉱山や日立製作所では、大正時代から社宅や寮、倶楽部などへ水道による給水を行っていたが、一般市民にまでは及んでいなかった。昭和13年に、日立製作所多賀工場の新設計画とともに、工業用水として久慈川の水の導入が検討され、昭和15年から使用が開始された。さらに、従業員に対する飲料水の給水が計画されたが、日立市及び多賀町からの強い要望により、当初の計画を拡大し、昭和15年8月に日立製作所の系列会社として日立水道株式会社が設立された。これにより、翌16年7月から、市内の一部地区において水道による給水が行われるようになった。

当時の計画による給水人口は3万人、1人1日最大給水量は166Lであった。

日立市水道の発足

戦災復興を目的とするまちづくりの一環として、市民への給水を目的とする上水道事業を、市営にすべきとの見地から、昭和21年12月1日に市が日立水道株式会社を買収し、昭和23年10月1日に日立市水道として発足した。

第一期拡張工事

市営となった上水道事業だが、自己水源を持たず、依然として原水を株式会社日立製作所の工業用水に依存していたため、経営管理に支障が生じていた。

そこで、1日平均給水量 $3,300\text{m}^3$ の約3分の1、1日平均 $1,200\text{m}^3$ を自ら充足する計画で、市内平沢に補助水源を求め、昭和26年4月に着工、同年9月に完工した。

第二期拡張工事

夏期の最大需要に応えるため、昭和28年11月から会瀬浄水場に 300m^3 /日のろ過池を増設する工事を行い、昭和29年9月に完工した。

第三期拡張工事

人口増加に伴う水需要の増大により、1日最大 $3,500\text{m}^3$ の取水が可能な湧水を求め、昭和29年9月に、成沢町池の川地内「池の川水源」の工事に着手、昭和33年3月に完工した。

第四期拡張工事

第一次工事として、昭和33年3月から、給水人口10万人を対象とする取水、浄水、配水の各施設の築造工事を行い、昭和38年3月に完工した。

第二次工事は、昭和37年4月から、給水人口12万人を対象とした施設の築造工事を行い、昭和41年3月に完工した。

第五期拡張工事

第一次工事は、昭和42年4月から、給水人口17万6千人を対象とする取水、浄水、配水等の施設の築造工事を行い、昭和48年3月に完工した。

第二次工事は、昭和47年4月から着工し、昭和57年3月に給水人口19万8千人を対象とする施設を完工させた。

第六期拡張工事

第五期拡張工事までで、1日最大給水量は10万3,000m³となったが、その後もゆるやかではあるが水需要の増加が予想されたことや、久慈川の流量低下、それに伴う海水遡上による取水障害の発生などを理由に、茨城県が主体となって建設を進めていた十王ダムから、都市用水（2万8,960m³/日）の供給を受け、昭和53年4月から取水、浄水、配水等の施設の築造工事を行い、平成13年3月に完工した。

十王町の統合

平成16年11月1日には、十王町との合併に伴い、十王町水道事業の全部を引き継いだ。

これにより給水区域が拡張され、最大計画給水人口25万1,730人、1日最大給水量13万5,490m³となった。

十王町みはらし台地区の編入及び簡易水道事業の統合

平成27年6月1日には、十王町みはらし台地区を編入、また、平成28年4月1日には、これまで市で管理していた「中里地区簡易水道事業」及び「諏訪大平田地区簡易水道事業」を上水道事業に統合した。これに伴い給水区域を拡張するとともに、現状に合わせ、最大計画給水人口を18万2,300人に、1日最大給水量を6万8,400m³に見直した。

<これまでの経過>

種 別	期 間		事業費 (千円)	計 画		備 考
	起工 年月	竣工 年月		1日最大 給水量 (m ³)	給水人口 (人)	
創 設	S15. 9	S17. 11	857	4,980	30,000	日立水道株式会社 (S15. 8創設)
日立市水道発足	S23. 10 (発足)		-	4,980	30,000	日立水道株式会社を買収 (S21. 12買収)
第 一 期 拡 張	S26. 4	S26. 9	7,687	4,980	30,000	平沢水源新設
第 二 期 拡 張	S28. 11	S29. 9	2,762	4,980	30,000	会瀬浄水場ろ過池増設
第 三 期 拡 張	S29. 9	S33. 3	43,210	11,250	45,000	池の川水源新設
第四期第一次拡張	S33. 3	S38. 3	867,893	27,500	100,000	久慈川第一水源、森山浄水 場新設等
第四期第二次拡張	S37. 4	S41. 3	427,268	48,000	120,000	久慈川第一水源取水ポンプ 増設、水木水源新設、森山 浄水場浄水施設増設等
第五期第一次拡張	S42. 4	S48. 3	2,476,800	75,198	176,000	久慈川第二水源新設、森山 浄水場増設等
第五期第二次拡張	S47. 4	S57. 3	3,989,000	103,000	198,000	久慈川第一水源を第二水源 に統合、森山浄水場浄水施 設増設等
第 六 期 拡 張	S53. 4	H13. 3	22,203,826	130,490	237,800	十王川水源、日立十王浄水 場新設等
十王町の統合	H16. 11 (合併)			135,490	251,730	十王町との合併により、十 王町水道事業を引き継ぐ
みはらし台地区 の編入及び簡易 水道事業の統合	H27. 6 H28. 4			68,400	182,300	十王町みはらし台地区の編 入、簡易水道事業を上水道 事業に統合